

参加費
無料

環境・エネルギーシンポジウム

カーボンニュートラルに向けてのエネルギー 安全保障と世界の原子力開発の動向

共催：帝京大学（一社）日本原子力産業協会

現下、地球沸騰化と言われるまでの気候危機や、ロシアのウクライナ侵攻と中東情勢緊迫化によるエネルギー危機が深刻化しつつある。こうした中、世界的に非化石エネルギーである原子力発電は、S+3Eといったエネルギー安全保障や脱炭素化のための極めて重要な対処ツールと優れたエネルギーソースとして重視・活用されている。本シンポジウムでは、第一陣の専門家・研究者を集め、内外のエネルギー安全保障と原子力発電の現状・特徴や今後の克服課題・ゆくえについて、考えてみたい

開会挨拶

13:30-13:35

帝京大学理事長・学長 冲永佳史

講演テーマ

講演者

講演1

13:35-14:20

脱炭素時代の日本など主要国の
エネルギーと原子力の開発動向

(一社)日本原子力産業協会
地域交流部 調査役 喜多 智彦

講演2

14:20-15:05

日本のエネルギー・電力安全保障と
CCUSに伴う石炭火力について

帝京大学 先端総合研究機構
教授 田沼 唯士

講演3

15:15-16:00

脱炭素移行期の中国のエネルギー
安全保障と原子力開発の現状・特徴

帝京大学 冲永総合研究所
特任教授 郭 四志

講演4

16:00-16:45

日本における高レベル放射性廃棄物の地層
処分の現状と今後の原子力発電の課題

(一社)日本原子力産業協会
地域交流部 技術顧問 武田 精悦

閉会挨拶

16:45-16:50

(一社)日本原子力産業協会 理事長 増井秀企

【日時】2024年12月23日(月)13:30~16:50 受付13:00 から

【会場】帝京大学 霞が関キャンパス 東京都千代田区平河町2-16-1

平河町森タワー9階 地図と交通アクセス：<https://www.teikyo-u.ac.jp/campus/access/kasumigaseki>

【定員】60名

【参加申し込み方法】以下URLよりフォーマットに従って入力してください

《申込フォームURL》

<https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nitf-mctjkc-b6ad895d894a8f78c98e06a7c54fb26c>

QRコードはこちら→



お問い合わせ先:

(一社)日本原子力産業協会 地域交流部 江尻寿延 03-6256-9327 t-ejiri@jaif.or.jp

帝京大学 冲永総合研究所 郭四志 kakushishi@yahoo.co.jp